“living our dream” Tour in the U.S.A

アドベンチャーライダー jasmine T Cardwell の

最終回

本名：**晃良** [テルミ] Cardwell（36歳）
出身:愛知県豊橋市
特技:サーフィン、ゴルフ、武道（剣道二段、居合道四段、杖道参段→武道をやっていた経歴より、侍ライダーを名乗っています。）
バイク:BMW F650GS
jasmine@samurai-rider.com

2013年も残すところあと僅か。あっという間に師走〜、イベント目白押しの年末年始ですね。皆さん、今年の目標は達成できましたか？　慌ただしい時期ですので、ライディングされる際には十二分に気を付けましょうね!

=Get Your Kicks On “Route 66”= part2

４月号より９回に渡り、２０１２年のjasmineアメリカ横断紀行をご紹介させて頂きましたが、いよいよ今回が最終回になりました。70日間、22州に渡る9,000マイル（約15,500km）のAdventure Ridingは、アメリカの壮大さを心身で感じると共に、私自身を成長させてくれる旅でもありました。あと少し、あと少しと自分で自分を後押ししながら、前に進むしかなかった過酷なADVライディングも、いよいよゴール間近です！　ホームタウンである西海岸に近づいてきたという実感が、前進する気持ちを更に高ぶらせます。

さて今回は、前回に引き続きルート66（以下R66）の通り道であるテキサス州（以下TX）、ニューメキシコ州（以下NM）、アリゾナ州（以下AZ）、そして終着州のカリフォルニア州（以下CA）を各州ごとに紹介していきましょう！

実は、前回号までで半分の4州を紹介しましたが、距離的にはまだ半分に達していないとう…。まだまだ続く、長い長い道のりのR66。ここTX州より激しさを増していく砂漠地帯の暑さは、5月号で紹介したグレートプレーンズ地帯の辛かった気候を思い起こさせます。

TX：R66 全長186マイル（約299km）

主な経由地:セントルイス、スプリングフィールド、ジョプリン

広大な州TXですが、R66の通り道はTX州の北西に突き出ている部分なので、距離的にはさほど長くはありません。その突き出た部分を、アメリカでは"パンハンドル"と呼びます。TX州全体をフライパンに例え、北西の出っ張った部分の地形がフライパンの取っ手と例えられている為です。（前回号で紹介した、オクラホマ州もパンハンドルという代名詞を使います。）

距離は長くないもののさすがはTX、見ごたえのあるR66の名所がたくさん。TX州の豪快さを、R66上でも感じることができました。6月号で紹介したウエスタンブーツとCowの州というのも勿論健在!!

そしてここTX州で、R66の中間ポイントを迎えます。「TXはイケてる州だからだぜぃ！」というようなことが中間地点のギフトショップに記されていました。

T　X：中間地点です！

めます。どのくらいの観光客が今までに訪れたのでしょうか？　ペイントされたインクの層が恐ろしいほど厚くなっていて、長い歴史を感じました。しかし牛さん達がのどかに暮らしている環境にも関わらず、人間は醜いもので、ペイントで使ったスプレー缶がゴロゴロと転がっていました。ごみを持ち帰らない…。日本なら絶対に有り得ない光景ですが、これもThe USA…。心が痛みました。

アマリロにあるR66の名所中の名所であるキャディラック・レンチは、10台のキャディラックが地中に頭から突っ込んだ状態で埋まっているという、何ともユニークな芸術作品を堪能できる観光名所です。広大な荒野にたくさんの放牧牛達が暮らす中、このキャディラックのオブジェだけが遥か彼方から発見できます。キャディラックのボディーにペイントしたい放題なので、スプレー缶を持っていくと観光が一段と楽し

TX：キャデラック・レンチは、広大な敷地に佇む年期の入った観光名所。 この壮大なタタズマイ！WEBアドレスをペイント中です♪

TX：グルームという所にある、Leaning water tower。傾いているのが分かりますか？　その名の通り水が入ったタワーで、緊急時に備えています

AZ：R66 全長401マイル（約645km）

主な経由地:ウィンスロウ、フラッグスタッフ、セリグマン、キングマン

砂漠地帯は続きますが、AZ州もR66は州の上部を通っており、山間部なので猛烈な暑さから少しだけ回避できました。5月号で紹介したフラッグスタッフという街を経由しており、R66の旅路から少し外れて数日間は国立公園と観光地巡り！　小さな町を通過する度に、充実したギフトショップがAZ州にはたくさんありました。今でもR66の栄光を、地域を挙げて大切に守り続けている姿に感動しました。

アルバカーキの街にあるオールドタウンというエリアには、多くのアメリカン・インディアンの歴史が残っており、伝統的なインディアンの小物やジュエリーなどのお店があります。またこの辺りの土地でしか採取できない、ターコイズなどの珍しい天然石も多く、マニアにはたまらない場所です。NMの最終地点にあるインディアン・ジュエリーのお店に立ち寄ると、何と州境が店内に！　アメリカは州ごとの法律があることは前回号までに説明した通り、お店の税金や固定資産税など、どうするの？と興味深い会話がマイケルと店員さんの間で繰り広げられました。私は専らインディアン・ジュエリーに興味深々で、あまり聞いていませんでしたが…（笑）

さて、もう一か所外すことが出来ない場所があります！　それはR66沿いの有名なステーキ屋さん、その名もBIG TEXAN！【http://bigtexan.com】72オンス（約2kg）のステーキを１時間以内に完食すれば無料という…。ジャニーズの山Pが挑戦していましたね。私たちは勿論〜、挑戦しませんでしたが（マイケルは挑戦しそうに見られますが　笑）。通常サイズのステーキを美味しく頂きました!!

AZ：ギフトショップの壁に、所狭しと貼られた世界中の紙幣。観光者が寄付したものだそうです。日本のお札も発見！

R66の存在の大きさが町中で伺えます

TX：肉〜〜〜、でかい!!!　店員さんもウエスタンブーツにウエスタンハットを全員装着していてテンションあがります

NM州とAZ州をまたぐ、珍しいギフトショップ。店内はこんな感じで州が分かれている

NM：R66 全長487マイル（約784km）

主な経由地:トゥクムカリ、アルバカーキ、サンタフェ、ギャロップ

NMから更に一直線に伸びる長〜い道が続きます。6月号で紹介したNMは南部地区ですが、R66はアルバカーキがある、州の中央上部を通っています。

AZ：ギフトショップと並ぶR66の名残、映画Carsのモデルカーがたくさんありました！

AZ：キングマンに入る手前のギフトショップ。外観からも年期が入っているのが伺えます

TXとNMの州の境界付近のR66は閑散としていて、こんなこともできちゃいます！ロ〜ング・ストレート・ロードが延々と続きます

"living our dream" Tour in the U.S.A

フラッグスタッフから150マイル（約240km）東に走り進めると、突然激しいワインディングロードが現れ、久しぶりのワインディング攻撃に少々テンパりました。数マイルのワインディングを走り抜けると、何ともユニークな小さな田舎町に辿り着きます。私の中で一番印象に残っているR66の田舎町、キングマンです！　人慣れたドンキー達が観光客から餌をもらい、道路にはおびただしい数のウ○コさん達が転がっています！　突然道路が封鎖され、ショーが開催されます。ショーの途中で空気銃の発砲もありますが、ドンキー達は慣れたもの…。びくりともしません。

AZ：キングマンという田舎町で出会った、人間慣れした野生のドンキー。ドンキーって聞くと、日本だとロバのことです

CA：R66 全長314マイル（約505km）

主な経由地:ニードルス、バーストウ、ヴィクターヴィル、ヒスペリア、パサデナ、ウエスト・ハリウッド、ビバリーヒルズ、ウエスト・ロサンゼルス、サンタモニカ

いよいよ我がHometownのCA州に入り、長かった道のりもようやくゴールが感じられるようになりました！　ニードスルという小さな田舎町からCAのR66は始まります。モハビ砂漠（ユタ州、ネバダ州、AZ州、CA州に広がる砂漠）のど真ん中を通るR66は、相変わらずの暑さが襲います。

CA：R66の左右に広がるモハビ砂漠

CA：道中最後の観光名所、 ボトル・ツリー・レンチ。様々なボトルが木々のように刺さっています

バーストウという町を抜け、ロサンゼルス（以下LA）に近づいてくるとヤシの木が現れ始めます。2か月ぶりに目にするヤシの木！　CA州に戻ってきたという実感と安心を与えてくれます。と言っても、まだ気は抜けません。CAに入ってからが最も過酷なライディングが待っているからです。

CA：昔インディアンが住んでいたお家Tee-peeのホテル。一年先まで予約が埋まっているとのこと！凄い人気です！

CA：モハビ砂漠の中の長～いレールを、長～い長～い貨物列車が走り抜けます

R66道中では最後の見どころである、エルマーズ・ボトル・ツリー・レンチに立ち寄りました。何でも、エルマーさんが、自分の敷地に趣味でボトルの森を作ったものが観光名所となったようです。そして現在も彼はボトルの森を増殖しているそうです。What a unique hobby he has!!　です。

HOME, my sweet sweet HOME!!

CA：「HISTORIC ROUTE END」の看板で、 ハイチーズ。感無量です!!

CA：サンディエゴ。70日間のADVライディングの最終終着点!!!!

この連載をきっかけに、いつか皆さんが、「アメリカをバイクで走ってみたいなぁ」と思っていただけた時に多少なりとも参考にして頂ければ幸いに思います！　私のADVライディンの経験を、今後とも日本の皆様に発信し続けて行ければ、こんなに光栄なことはありません！　夢と希望を相馬に乗せ、自分への挑戦のADVライディングの旅は続きます！　また、皆さんにお会い出来る日を楽しみにしています。

Ride safe as always!! " living our dream, living my journey" I will see you on the road!!
jasmine T Cardwell

これで私のR66を含む2012年のツーリングリポートはおしまいです。最終回までお付き合いくださり、本当にありがとうございました。日本の皆さんに、アメリカ事情を少しでも知って頂きたい、身近に感じて頂きたいという想いのもと、 私のADVライディングの経験を紹介させて頂きました。

皆さんの心に残るフレーズをひとつでも残すことが出来たでしょうか？　"アドベンチャー・ライダー"という言葉が女性ライダーの皆さんをはじめ、日本のバイカー業界にもっともっと浸透していくことを願っております。

ゴールのあるサンタモニカまでは、前日に泊まったヘスペリアという小さな町から、おおよそ100マイル（約160km）!!!　LAに近づくにつれ、空が灰色に変わっていきます。これは天候が悪くなったのではなく、大都会LAのスモッグ。こんなにも顕著にLA上空だけが灰色に見えるなんて知らなかった～!!　この中を今から通り抜けるのだと思うと、少々覚悟が要りましたよ。そしてやってきたLA名物（!?）の渋滞により、全然ゴールが見えません。ウエスト・ハリウッド辺りから、10マイル進むのに何と2時間を要し（通常なら10マイルは約10分前後で走行できます）、クラッチを握る左手の痛みに絶えかね、この期に及んで涙が出てくる始末…。のろのろ運転の末、長い長い2448マイルの旅の終着点、サンタモニカのピアにやっと、やっと、やっと到着したのでした!!

この時の感動と達成感は言葉にできないほどのもので、ある意味戦いが終わった～とすら感じました。（何の戦い!?　自分との戦い…かな！）

CA：長かった～！やっとたどり着いた終着点、サンタモニカのピア

I completed this route in 2012!

この旅を振り返って、まず思ったこと…アメリカはとにかく広大な国！　何処を走っても、どこに行っても、ネタが尽きない、まさに"ネタ大国"と表現したら妥当でしょうか。渡米してから8年目を迎えた今、日本もアメリカも両国を更に好きになり、もっともっと知りたいと思うようになりました。日本と比べると、その歴史は浅いアメリカですが、それぞれの地に独特の文化が根付き、ドラマがあり、多くの人々を魅了し続ける国だと思います。実は今も新たなルートでアメリカをADVライディング中なんです!!　アメリカ好き＆興味のある方、今後ともjasmineのADVリポートをwww.samurai-rider.comよりご覧ください！　私の旅はto be continued　だぁ～!!